

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	大住保育園	施設種別	保育所
評価機関名	特定非営利活動法人 きょうと福祉ネットワーク「一期一会」		

平成25年5月20日

総 評	<p>大住保育園は昭和27年に、農繁期に子供たちを預かるなど地域からのニーズに答えた形で開設されました。長い歴史の中で守ってこられたキリスト教保育に基づき、豊かな情操を養い豊かな人間力をもった子どもを育成するために、自然の中ではぐくみ育てる「豊かに伸びる」という保育目標を踏襲され、現在に至っておられます。</p> <p>子ども達のがのびのびと過ごせる環境を大切にされ、「疲れるほど遊べる環境を作りたい」との思いから園庭整備が進められています。自然に恵まれた環境にあり、季節の植物や作物に触れる機会が多くつくられています。園長の「雨が降らなければ外へ」「怪我をしてナンボ!」というしっかりとした保育理念のもと、子どもはのがのびのびと育ち、職員も楽しそうに1日を過ごしている様子が見られ、大変感銘を受けました。</p> <p>また、日々の散歩や児童館への外出、近隣の老人ホームへの訪問を通して、地域との交流も積極的に図られていました。あわせて、食育にも力を入れておられ、「食育年間計画表」に基づき、栽培や収穫、調理を手伝う機会が設けられていました。</p> <p>組織の運営管理では、担任ひとりが問題等を抱え込まないよう副担任制にし、職員がのがのびのびと子どもと向き合う雰囲気がありました。今後は、職員ひとり一人の研修計画の充実が望まれます。そのことが職員のモチベーションアップ、ひいては保育の質向上につながっていくものと考えます。また、多くの委員会を置き活動されていますが、委員会毎で年間計画の作成や見直しを行い、全体の保育方針にリンクさせながら組織的に委員会活動を行っていくよう工夫されると、尚充実した活動になっていくことと思います。</p> <p>これからも益々地域の拠点として、子ども達を豊かにはぐくみ育てていく保育が実践されますことを期待しています。</p>
-----	---

<p>特に良かった点(※)</p>	<p>II-3-(1) 地域との交流と連携 日頃から地域住民との連携を大切にされています。地域子育て支援センターが中心になり、地域のニーズを吸い上げ、「親子あそび」や「びよママ広場」など活発な取り組みをされています。</p> <p>III-2-(2) ③利用者の状況等に関する情報を職員間で共有している 毎日の情報共有については朝礼で行い、遅出勤務等で朝礼に出席できない職員には連絡ノート等を使って情報を伝えるなど、しっかりと情報の共有がなされていました。</p> <p>IV-1-(1) 健康管理・食事 食事調理に関する委員会が中心になり、保育活動と連動させた「食育年間計画表」を作成し、年齢別に具体的な計画が立てられていました。子ども自身が栽培や収穫、調理を手伝う機会を設けることで食への関心を高めると同時に、保護者に対しては「食育アンケート」を実施して意見を収集し、食育の大切さを伝えていました。調理場面が見えるランチルームがあり、素材の味を大切にした季節感のある給食が提供されていました。また、園庭で食事をする「青空ランチ」や、「お楽しみ給食」の機会を行事と関連させて設けていました。</p>
<p>特に改善が望まれる点(※)</p>	<p>II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている 職員ひとり一人が自己評価表「年間ふりかえりシート」を作成し、1年間の成果や課題を明確にする取り組みは大変評価出来ます。しかし、個別の研修計画は立てられていませんでした。「ふりかえりシート」に、個別の教育・研修計画と、評価・分析を連動させるとより充実するのではないのでしょうか。</p> <p>III-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的におこなわれている 評価委員メンバーとして職員も参加し、かつメンバーも入れ替えをしているという点は評価できます。今後は仕組みとして各委員会を活用するなどし、職員全員が何らかの形で関わり、協議できる場を作っていただければなお良いと思います。</p> <p>IV-1-(3) ⑤さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている 表現活動については、月主題や季節に合った絵本、食育につながる絵本の読み聞かせを積極的に取り入れ、家庭にも紹介されていました。音楽に関しては、2つの保育室がつながっている構造が一部あり、隣室の音が聞こえるという課題がありました。現在園舎改修中で、今後は楽器遊びや音楽が充分楽しめるように計画中でした。</p>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	大住保育園
施設種別	保育所
評価機関名	特定非営利活動法人 きょうと福祉ネットワーク「一期一会」
訪問調査日	2013年3月27日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1 (1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	a	a
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	a	a
	I-1-1 (2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	b	a
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	b	a
I-2 計画の策定	I-2-1 (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
	I-2-1 (2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	b	a
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	a	a
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	a	a
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	b	b
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1 (1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	b	b
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	b	b
	I-3-1 (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	b	b
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	b	a
[自由記述欄]				
I-1-1 (1)	①保育の理念・基本方針が、入園のしおり、要覧に明文化されている。 ②基本方針・保育目標が入園のしおり、要覧に明文化されている。			
I-1-1 (2)	①保育の理念・基本方針・目標については年度始めの職員会議で説明を行い、周知を図っている。 ②保護者に対しては入園説明会や入園式等で説明を行い、周知を図っている。			
I-2-1 (2)	①リクエストボックスや食育アンケートを行い、地域の実態や保護者の意向を考慮して保育計画が策定されている。 ②毎年年主題を設定し、子ども一人ひとりの発達段階や状況を十分に踏まえた保育が実践されていた。 ③毎月保育計画の評価を行い、その結果が次の計画に活かされていた。 ④計画の策定にあたっては、各クラス単位、各委員会や部会で取り組まれているが、年度でのまとめが全職員参画のもとで行われていない。 ⑤年間保育計画・食育計画等配布され、周知されている。			
I-3-1 (1)	①管理者の面接は年2回行われていたが、管理者を評価・見直すための方法が確立されていなかった。 ②法令遵守についての研修は受けているが、リスト化や職員への周知が不十分であった。			
I-3-1 (2)	①管理者は質の向上に意欲をもって先頭にたっているが、現状の評価・分析が定期的に行われていなかった。 ②管理者は改善に向けた取り組みを積極的に行っている。			

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	b	a
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	b	b
		② 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	b	a
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	b	a
		② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	b	a
		③ 定期的な個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	b	b
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	b	a
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	b	b
③ 定期的な個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。		b	b	
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	b	b	
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	b	b	
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a	a
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	b	a
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	a
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	b	b
[自由記述欄]				
II-1-(1)	①平成14年に地域子育て支援センターを開設し、ニーズや潜在的利用者に関するデータを収集している。			
II-2-(1)	①人事に関する基本的な考え方や方針は持っているが、具体的なプランが明文化されていなかった。			
II-2-(2)	①職員全員が年度末に年間ふりかえりシートを作成しており、就業に関する意向・意見を聞きとっている。 ②副担任制にし、職員がひとりで問題等を抱え込まないような体制がとられていた。			
II-2-(3)	①研修の基本姿勢は明確にされていた。 ②個別の知識・技術水準の把握は行われていたが、職員一人ひとりの研修計画が立てられていなかった。 ③研修後のレポートや伝達講習は行われていたが、研修成果の評価・分析がされていなかった。			
II-2-(4)	①実習マニュアルは整備されていたが、実習指導者に対する研修が不十分であった。 ②実習内容のプログラムに基づいた実習がなされていたが、明文化されていなかった。			
II-3-(1)	①地域との日常的なコミュニケーションを大切にし、関係づくりをおこなっていた。 ②地域子育て支援センターでは地域のニーズにあった取り組みが活発に行われていた。 ③中学生や高校生等ボランティアの受け入れを積極的に行っていた。			
II-3-(2)	①関係機関については職員会議で情報等の共有が図られているが、リスト化や資料の作成が不十分であった。			

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a	a
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a	a
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a	a
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	c	b
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	b	b
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	a	a
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	b	b
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	b	a
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	b
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			a	a
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	a
[自由記述欄]				
Ⅲ-1-(1)	① プライバシー保護に関する業務マニュアルが整備され、職員にも周知されていた。			
Ⅲ-1-(2)	① 業務マニュアル、苦情解決マニュアルを確認した。送迎時に口頭で言われたことや連絡ノートに書かれていた意見等が反映されていた。 ② 保護者等からの意見は、意見要望受付書に整理しファイリングされている。苦情・意見は園だよりや各クラスのたより等で公表している。			
Ⅲ-2-(1)	① 評価委員メンバーとして職員は毎年入れ替えているが、職員全体で協議できていなかった。 ② ふりかえりシートで自己評価をおこなったが、その結果を分析・検討する仕組みがなかった。			
Ⅲ-2-(2)	① 新年度の入園予定者とは3月初旬に面接し、アセスメントを定められた手順に従って行っている。 ② 記録の管理については業務マニュアルで対応しているが、開示請求についての規程がなかった。 ③ 毎日の情報共有は朝礼で行い、勤務の都合で参加できない職員には連絡ノートを活用し共有している。			
Ⅲ-3-(1)	① 情報は発信しているが、ホームページは準備中である。 ② 保育の開始にあたっては、きめ細かく説明された入園のしおりで確認。入園のしおりは現場の職員と一緒に考え、毎年見直しもしている。			
Ⅲ-3-(2)	① 卒園児に対して保育要録を作成し、情報提供している。転園児に対しても、必要に応じて情報提供している。			

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	a	a
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	a	a
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	a	a
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	a	a
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	a	a
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	a	a
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	a	a
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	a	a
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	b	a
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	b	b
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	a	a
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	a	a
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	a	a
		④ 身近な自然や社会とかがかわれるような取り組みがなされている	a	a
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	b	b
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	a	a
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	b	a
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	a	a
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	a	a
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	b	b
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	b	b

[自由記述欄]

IV-1-(1)	①健康管理に関するマニュアルが整備され、保護者から得た健康状態に関する情報は全職員に周知されている。
	②③内科検診は年2回、歯科健診は年2回実施されていた。体重の測定は毎月実施され、診断結果は保護者に伝達していた。
	④感染症に関するマニュアルが整備され、部会(乳児、幼児)ごとに予防対策を検討し、情報は玄関や保育室に掲示して保護者にも周知している。
IV-1-(2)	⑤⑥調理に関する委員会が中心になり、給食目標を明確にした「食育年間計画表」を作成していた。栽培や収穫、調理を手伝う機会を設けて食への関心を高めるなど、食育に力を入れている。調理場面が見えるランチルームがあり、園庭で食事をする「青空ランチ」や、「お楽しみ給食」の機会を行事と関連させて設けている。
	⑦毎年「食育アンケート」を実施して保護者から意見収集するとともに、レシピの紹介、食に関する絵本の紹介など、様々な情報を保護者に伝える工夫をしている。
IV-1-(2)	①保育室は清潔に保たれており、各部屋に加湿器が設置され、温度・湿度に配慮されていた。園庭には多目的に使える広いスペースが増築され、環境整備や遊具の点検も定期的に行われていた。
	②現在、一人ひとりの子どもがくつろいだり落ち着ける場所が確保されていなかった。改修されることによって確保されると思われる。

IV-1-(3)	①業務マニュアルの「保育の基本」、「勤務の心得」をもとに、一人ひとりに寄りそい、子ども達に声をかける前に一息ついて待つ姿勢が保育士に徹底されている。
	②園生活に使う帽子、衣服にフッペンを付ける、タオル、袋などは使いやすいものを手作りするなど、しおりに作り方の詳細を記載して家庭に協力を依頼し、子ども達が自分でできることを楽しみながら生活習慣を身につけるための工夫がみられた。
	③④自然に恵まれた環境にあり、季節の植物や作物に触れられる。日々の散歩や児童館への外出、近隣の老人ホームへの訪問等を通して地域との交流が図られていた。
	⑤月主題や季節に合った絵本、食育につながる絵本の読みきかせを積極的に取り入れ、家庭にも紹介している。保育室が2部屋つながっている構造のため、隣室の音楽が聞こえる保育室がある。楽器遊びや音楽が十分楽しめるよう改修中であった。
	⑥「自分のことは自分でする」経験を大切に考え、食事などの当番活動に取り組まれていた。外遊びや遠足を縦割りを実施して、年下の子どもへの思いやりを育み、役割を果たせる取り組みをされていた。
	⑦⑧保育目標のひとつに「自分と他の人々との違いを認める」と謳われ、保育士は一人ひとりの子どもを尊重する姿勢を徹底している。また、子どもが自分の意見を言えるように待つ姿勢を大切にしている。
	⑨保育室は採光がよく、また床暖房も整備されており、乳児保育にもふさわしい環境整備がなされていた。離乳食は個々に合うように配慮され、保護者に情報提供もされていた。
	⑩長時間保育は実施されているが、夕食や軽食の提供は現在行われていなかった。
	⑪園舎改修によってバリアフリーへの配慮を検討中である。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	a	a
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	b	a
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	b	a
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	a	a
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	a	a
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	b	a
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	非該当	非該当

[自由記述欄]

IV-2-(1)	②保護者との情報交換に努め、その内容は保育日誌などに詳細が記録されていた。
	③年1回の懇談会をはじめ、親子遠足、運動会など親子参加の企画があり、保護者と共通理解を深めることを大切にされていた。
	④⑤児童虐待に関するマニュアルが整備され、市が開催した研修に参加されていた。児童相談所など通告にあたっての連絡先は明示されていた。
	⑥保育記録に指導計画に基づくサービス内容はじめ日々の状況が詳細に記録されていた。
IV-2-(2)	①非該当 一時保育は実施されていない。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	a	a
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	c	b
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	a	a
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	c	b
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	c	b

[自由記述欄]

IV-3-(1)	①衛生管理に関するマニュアルが整備され、委員会を中心に安全確保に関する検討が進められている。
	②食中毒の発生時における対応マニュアルは整備され研修も行われていたが、マニュアルの定期的な見直しは実施されていなかった。
	③リスクマネジメント委員会が、事故防止の取り組みを行っている、また、避難訓練年間計画を策定して様々な災害想定での訓練が毎月実施されている。
	④事故や災害時に対応できるマニュアルは策定されていたが、災害別の分類などは未整備であった。
	⑤不審者の侵入時における対応マニュアルは整備されていたが、研修や定期的な見直しは確認できなかった。